

近世貨幣と経済発展



[近世貨幣と経済発展 下载链接1](#)

著者:岩橋 勝

出版者:名古屋大学出版会

出版时间:

装帧:

isbn:9784815809652

「三貨制」史観を塗り替える画期的労作
――。小額貨幣の流通は、庶民の生活水準の上昇を示す指標である。銭貨や藩札などの需要面に注目し、多様性とダイナミズムを内包する日本各地の実態を分析、東アジアにおける徳川経済の先進性を実証する。

作者介绍:

目录:序 章 本書の視角と課題

第Ⅰ部 貨幣流通から見る近世日本経済

第1章 近世経済の制度的枠組み

はじめに

1 徳川の平和 ― 制度的安定

2 市場規模拡大のための諸制度

3 経済インセンティブの成立

むすび

第2章 近世経済発展と貨幣

はじめに

1 石高制のなかの貨幣

2 近世貨幣の多様性と統合化

3 小額貨幣と経済発展

むすび

第3章 近世銭相場の変動と地域比較

はじめに

1 東日本の銭相場

2 西日本の銭相場

むすび

第4章 徳川時代の貨幣数量

― 金・銀・銭貨在高の推移

はじめに

1 金銀貨在高の推移

2 銭貨在高の推移

3 徳川期三貨流通量の推移 ― むすびにかえて

第5章 近世の日本・中国・朝鮮における貨幣経済化

はじめに

1 3国の貨幣制度と流通貨幣の推移

2 データの整備方法

3 貨幣経済化の3国比較

むすび

第Ⅱ部 近世紙幣論

第6章 近世紙幣の流通実態

はじめに

1 近世紙幣の研究視角

2 藩札の流通実態をめぐる課題

3 藩札の流通持続期間と流通基盤

4 近世私札の流通実態

5 小額貨幣不足打開のための藩札・私札のコラボレーション

6 近代紙幣への日中比較 ― むすびにかえて

第7章 伊予松山藩札流通と銭匁勘定

はじめに

1 松山藩の藩札流通政策

2 松山藩領における銭匁遣い

3 藩札価格維持の要因 ― むすびにかえて

第8章 藩札信用獲得の一条件

― 熊本藩領を事例として

はじめに

1 熊本藩札と銭預り

2 熊本藩領の取引価値基準と銭匁内実

3 熊本藩領内流通貨幣の実態

4 銭匁遣い化と銭預り定着の要因 ― むすびにかえて

第9章 出雲松江藩札と連判札

― 藩札と私札のコラボレーション

はじめに

- 1 松江藩領内流通貨幣の実態
- 2 松江藩領内札遣いの実態
- 3 連判札の発行と流通
- 4 松江藩札と連判札 ―― むすびにかえて
- 第III部 近世貨幣の流通実態
- ―― 錢貨を中心として
- 第10章 錢遣い経済圏と錢匄遣い
- はじめに
- 1 錢札発行分布から見る錢遣い経済圏
- 2 錢匄遣いの実態
- 3 三貨制のなかでの錢遣いの意義 ―― むすびにかえて
- 第11章 東北地方の貨幣流通
- ―― 津軽地方の錢匄遣いを中心として
- はじめに
- 1 津軽地方の錢匄遣い
- 2 津軽地方の貨幣流通実態
- 3 秋田地方の貨幣流通実態
- 4 若干の考察 ―― むすびにかえて
- 第12章 土佐における八錢勘定
- はじめに
- 1 売券類に見る基準貨幣と流通貨幣
- 2 八錢勘定の成立と実態
- 3 土佐における貨幣流通実態
- むすび
- 第13章 九州地方の錢遣い
- ―― 豊後日田地域金融取引における基準貨幣を中心として
- はじめに
- 1 豊後日田と千原家の概況
- 2 千原家金融取引証文の基準貨幣
- 3 日田地方の流通貨幣 ―― むすびにかえて
- 補論 九州各地の錢遣い事情
- 終章 近世貨幣と経済発展
- あとがき
- 初出一覧
- 図表一覧
- 索引
- ・ ・ ・ ・ ・ ([收起](#))

[近世貨幣と経済発展_下载链接1_](#)

标签

经济史

江戸

日本史

日本

评论

[近世貨幣と經濟發展_下载链接1](#)

书评

[近世貨幣と經濟發展_下载链接1](#)